

業者

大会開き

りあう。

主催者である全国農協青年組織協議会の天笠淳家会長はT.P.P.について「5年8カ月、真つ正面から立ち向かってきた。全青協としても幾度となくT.P.P.に関する取り組みを行いつつ、大きな運動を展開してきた。このたびの合意内容は多くの農業者、国民にとって将来の食糧供給や、国民

生活に非常に不安を残すものと考えている」と述べた。

さらに今後の取り組みについて「私たち農業者は今後も引き続き、政府、与党、そのほか各関連団体と共有しながら対話を通じ農業、それから地域、そして将来的なJAの担い手として10年後、20年後にしっかりと農業を中心とした営農ビジョンが築けるよう、その実現に向けて先頭に立つて実践していきたい」と強調した。

来賓として出席した森山裕農相は「こじは農政新時代ともいうべき、新たなステージを切り開く重要な年になると考えている。農政は生産者の高齢化や耕作放棄地の増大など課題に直面している」

「農業の活性化はまっぴらなし。これまでも農協改革など攻めの農業の施策を進めてきた。これまでに進めてきた農政改革に加え、新たな政策手法により生産者以外の方がたの知恵を総動員した新たな農政を展開していく」と述べた。

縮役員営業部長が輸出商社としての立場から、諸外国における和牛の需要と消費動向、輸出統計について説明し、さらに今後ますます価格高騰が予測される日本産牛肉の調達面から、セット買いによるコストダウンや複数の飲食店による共同購買の提案を行った。

最後にエムケイ開発㈱の河上貴一社長が、鳥取県のブランド牛「鳥取和牛オレイン55」の紹介を通じて、みた目だけでなく、オレイン酸含有率に注目した新たな和牛の

取り組みを紹介。それぞれの立場から日本産和牛の優位性が説明され、参加したユーザーから高い評価を得た。

阿部代表理事は「近年、タイは日本食ブームに支えられ、日本からの牛肉輸入量が増加傾向にある。当協議会では、いかに日本各地に存在する和牛のおいしさを広め、海外でも積極的に輸出・販売活動に取り組みめるかが課題となっている」

「国内以上に高価な商品となっているだけに、セット買いによるコストダウン、さまざまな部位の提案や料理用途の提案に加え、さらなる市場拡大のためには今後、共同購入へも取り組んでいく」と語った。

首都圏MP輸出推進協

タイで和牛のプロモ

首都圏ミートパッカー輸出推進協議会(阿部昌史代表理事)は2月8日、タイ・バンコクでWAGYUプロモーションを開催した。プロモーションは、(株)ミートコンパニオンの関係会社が運営する高級すき焼き店「WAGYU SAMURAI」を会場に、現地有力な飲食店経営者や料理長、食品会社関係者ら約40人が集まった。

1部では和牛セミナー勉強会、2部では試食会

「参加者にとって有意義なセミナーとなるように」とのあいさつに続き、協議会会員を講師とした第1部のセミナーが進行した。

畜産特化し「笑談会」 かながわブランド協が

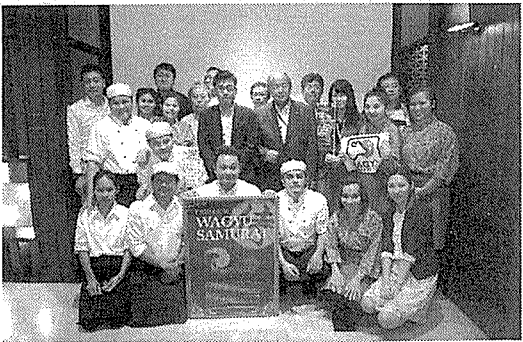


2回目の実施となった「かながわ畜産・絆づくり笑談会」

「最初の講師として、上里ファーム代表の植井敏夫社長が生産者の立場からみた和牛生産の現状と、今後の展望も踏まえ、今後の展望も踏まえ、生産者の取り組みなどについて説明。

「畜産関係16団体と神奈川県が構成する「かながわ畜産ブランド推進協議会」は2月8日、横浜市中区の横浜ベイホテル東急で、県産畜産物の知名度向上や販売力強化を目的に、畜産ブランドに特化した商談会「かながわ畜産・絆づくり笑談会」を開催した。

「笑談会」は2回目。ほかに神奈川県では県庁前で畜産消費拡大イベントを行うなど畜産に力を入れている。今回は、ぐるなび主催「ぐるなび戦略共有会」



④関係者で記念撮影を行った ⑤和牛セミナー勉強会、試食会の2部構成で行われた

食肉に関するニュースを確実、迅速にお届けする日刊紙
(土・日・祝日を除く)

食肉速報

年間購読料 76,000円+税別

「笑談会」について神奈川県畜産会の倉迫豊常務理事は「かながわ畜産ブランド推進協議会を1

デンマーク農業理事 バク質化学、食肉加工 特性までを無理なく体系的に履修。基礎的

が行われ、研修者全員 送迎、研修授業費、各国出国税が含まれる。